



創立20周年航空写真



九品仏小学校同窓会だより

◎ 年度総会のお知らせ

平成元年の年度総会を左記のように開催いたします。各期幹事の方、日頃のご協力ありがとうございます。

同期の方への連絡・名簿の整備・会費の納入勧誘ご苦勞様です。

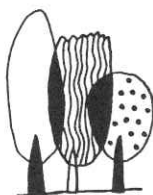
今年の年度総会の日程が決まりましたのであらかじめお知らせいたします。

記

日時 六月十八日午後一時～

場所 九品仏小学校

尚、三十六期の皆さんは当日卒業アルバム
の配布があります。是非ご出席下さい。



No. 2
元 5. 12
発 行

◎ 「同窓会だより」によせて

副会長 佐原 學

九品仏小学校同窓会は、ご承知の通り一昨年、昭和六十二年九月二十七日に結成され、歩みはじめました。今年卒業の第三十六回生六十八名を新会員として迎え、総数四千百九十二名となりました。この一年八ヶ月の間に同窓会各期幹事、並びに会員の皆様方のお力により徐々にはありますが、名簿の整備が進み、又財政面でのご協力が得られるようになってまいりましたが、誠に残念なことは、名簿の整備が捗っていない期がありますことと、財政面においても協力が得られつつあるとはいえ、未だに一部の期の方々の強力なバックアップによるものであるというのも事実です。同窓会発展、充実の為に、一人でも多くの方のご支援、ご協力の程、特にお願いいたします。

さて、同窓会発足を機に、多くのクラス会が開催されております。クラス会を行っていない期の方も、是非この機会に初恋の人との

世田谷区奥沢八一十二ー一
世田谷区立九品仏小学校同窓会
TEL 〇三七八
発行人 会長 富田 浩司

再会を、旧友との楽しい思い出を、そして恩師を囲み、語り合う場を持たれては如何でしょうか。クラス会を開く時に、母校九品仏小学校を見てみたい、又母校の教室で恩師と共に一時を過ごしてみたい等、母校の施設を使用したい場合は同窓会までお申し出下さい。お力になれると思います。クラス会の様子を同窓会までお知らせ下さい。

又、左記の通り九品仏小学校行事があります。現在の九品仏小学校を知るよいチャンスと思います。是非多くの方が足を運び、母校を懐しんで下さい。

六月四日

運動会（校庭）

十一月十八・十九日 展覧会（体育館）

尚、同窓会設立準備会当時から、学校側の同窓会担当として、ご尽力いただきました、五十嵐貫治、坂本佳子両先生が平成元年三月をもちまして、同窓会担当を降りられました。ここに改めて心より御礼申しあげます。

平成元年四月から、学校側の同窓会担当として、高久 仁、赤松慧子両先生を新しくお迎えいたしましたのでお知らせします。

ふと九品仏小学校時代を思いおこす事があった時、ためらわずお便りを下さい。

「同窓会だより」を、より親しまれる会報として、充実に努めたいと思います。会員の皆様の、ご協力、ご支援をお願いいたします。

● 遠い思い出

初代教頭 大久保 孝

突然、同窓会会長 富田浩司さんより開校当時の思い出でもという御依頼、弱ったなあ。九品仏小を去って三十三年、当時の同僚も何人かは他界、私も八十三才。どうにか生きているものの、急速な健忘症の渦中、果して想いの糸をたぐることが出来るだろうか。

何時ものように出勤した。小林校長（八幡小）が校長室で朝食をとっている。どうしたのですかと尋ねると、やっと今朝未明九品仏小の敷地の譲渡に調印したよ。実に足かけ三年に亘る交渉の成果であった。これが九品仏小誕生のスタートであった。

新学年を迎え開校したものの校舎がない。

八幡、尾山台両校に別れての間借り授業、色々不自由はあった。然し一方新校舎工事は着々と進みやがて完成した。木造ながら本建築の立派な校舎、戦前戦中に建てられたバラック建の学校の羨望的であった。

いよいよ移転、僕達の学校、私達の学び舎、生気と歓喜に満ちた、顔、顔、顔、今でも忘れかけた記憶の中に甦る。然し一方校庭は放置された間にはびこった雑草、皆んなで抜こう、教師も児童も一緒に、体育の時間等を利用して、汗だくの悪戦苦闘、砂をまき、ローラーを引いてどうにか整備。当時在校し

ていた諸兄なら貴重な体験として想起するでしょう。当時私が一番案じたのは対立であった。八幡色、尾山台色に染った児童でも分離して九品仏という結合体となったからには九品仏色一色でなければならぬ。若し対立感情に支配されたら教育の基盤は根本から崩壊する。然し教師、PTAなどの慎重な配慮の賜か、その気配は全くなく、私の懸念が杞憂に終わったことは本当に喜ばしいことであった。時は流れ、私は在任三年半で校長として品川区に転出した。爾来三十年、教師、PTA、同窓会その他の絶大なる協力と支援のもとに目覚ましい充実発展の途上にある九品仏小。

心から祝福しつつ私の記憶発掘を終わります。

● 母校の近況

教頭 丸山 延子

桜の花びらがひらひら散る下で入学記念撮影をした新一年生六十二名を迎え、児童総数三百九十五名、全職員三十二名で平成元年度をスタートしました。

昨年度は六十八名の卒業生が新しく同窓会員となり、卒業生総数四千百九十二名となりました。

「中学生がたばこを吸っていたよ。」とか、「乱暴するのでこわかった。」等という話を

聞くこともありますが、自分のとるべき態度をよく考え行動する中学生になってほしいと思います。

九品仏小の子どもたちは、朝の元氣な挨拶でスタートしています。友だちと先生と心を開いての一日の始まりです。一年間をふり返ると、毎朝マラソンをして体力づくりに励んだ五年生、日光林間学園での思い出を作った六年生、へちまの栽培をし、観察を続けた三年生、社会科の勉強で郵便局の人たちの苦労がわかった二年生、一年生がおひなさまになったひな祭り集会、一年間の学習の成果を発表した四年生、また玄関の水槽でサケの卵から稚魚を育て、二月十九日には二子玉川に放流しました。

どの子も、どの学年も充実した一年間でした。

校内研究は、算数をとり上げ、「すじ道を立てて考える子どもを育てる」というテーマで進めてきました。今まで学習した内容を生かし問題解決をするにはどうしたらよいか、低中高学年で授業をし、その指導法、教具の制作に励んできました。本年度は、これを受けて深めるつもりです。

土曜日の午後、日曜日は子どもたちを対象に校庭を開放しています。子供とボール遊びをしたり、走ったりしているお父さんの姿も見られます。最近は一輪車に乗れる女の子が多くなりました。鉄棒やグロブジャング

ルにつかまって練習しているなど思っているうちにどんどん上手になり、手をつないだり、ボールをつきながら乗れるようになるので驚いています。

どうぞ、仕事の合間には、子どもさんと一緒に母校の様子を見にきてください。

◎ 四半世紀ぶりの再会

外川 廣洋

昭和三十八年三月第十期生として卒業した私達も、いつの間にか、早四十路が目の前に



チラチラする歳になりました。遅ればせながらの母校の同窓会発足を機に、旧六年二組北原龍子学級のクラス会を昨年（昭和六十三年）七月三日に二子玉川「菩提樹」にて開催

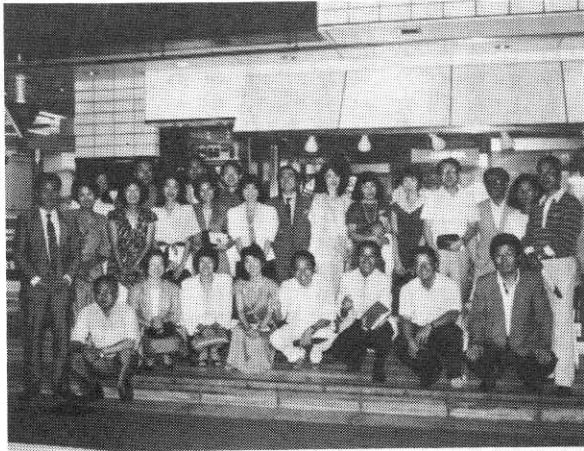
いたしました。出席者は先生の御臨席をいただき計十五名、クラスの三分の一ののぼりでした。往時と全くと言っていい程かわらない人、誰かなと名前を聞くまでわからなかった人。でも五分も話をすればたちまち息統合、初恋談義に花が咲き、現在の自分の近況を報告し合い、先生となつかしく歓談したり、食事をしたがらのアツという間の三時間になりました。会の後は時間のゆるされる仲間は一団となり二次会へ、仕事にもどる仲間はなごりおしそうに再会を期してそれぞれわかれていきました。今年もクラス会を開催することが会の席上決定しています。

私達のクラスの場合、先生が御元氣なのがなにより宝です。いつまでも御元氣で御活躍下さい。

◎ クラス会

佐藤 平

同窓会の名簿作成を機に、第三期一組のクラス会をする話が持ち上り、幼き頃の友、男性十五名、女性十一名が参加して、六十三年六月二十二日に、自由ヶ丘にて行われました。



飲むほどに酔うほどに、四十路中程の大人が何々ちゃん……とか、何々と仇名にてお互いの名前を呼び合い、一次会、二次会と過ごし、男性有志が三次会へと繰り出し、楽しいクラス会となりました。

又、当日、クラス会名を、故高橋喬次先生の口ぐせでした“モトエ”を会の名とし「モトエ会」と命名しました。

尚、今回のクラス会のきっかけとなった同窓会の皆様方の御活躍に感謝致します。

私共も同窓会の一員として母校の発展に微力では有りますが、協力したいと思ひます。

●平成元年度同窓会役員

名譽会長	山本 菊哉	校長先生
会長	富田 浩司	一期
副会長	佐原 學	二期
	宮本 忠	三期
常任幹事	丸山 延子	教頭先生
	走内 堯子	一期
	中村 紘子	一期
	根本美恵子	一期
	三野村祐子	一期
	永井 敏子	五期
	水越 孝子	八期
	外川 広洋	十期
	河田 順治	十一期
	山崎 英久	十五期
	毛利 悦朗	二十一期
	新原 洋子	一期 (会計)
	外川 剛	十三期 (会計)
	高久 仁	先生・同窓会担当
	赤松 慧子	先生・同窓会担当
會計監査	田中 雅子	一期
	福井 郁子	一期
顧問	浅子 昭三	第八代校長
幹事	各期最低一名、各クラス毎二名を 原則(一部例外)	

以上

●各期クラス幹事

現在、同窓会で把握しているクラス幹事の方は左記の方達です。

クラス幹事が交替された組、記載もれの幹事の方は至急同窓会の方へご連絡下さい。

期卒業	羽深理子	1 29 3
	市山輝寿、大須賀忠雄、菊池富美子	2 30 3
	服部楯夫、白勢 皎、森 孝次郎、加賀康子	3 31 3
	鍵山征男、坂田美智子、倅田マサ子	4 32 3
	大石萬喜夫	5 33 3
	渡辺弘泰	6 34 3
	池田新一	7 35 3
	竹見良二	8 36 3
	渡辺敏夫	9 37 3
	窪田 憲、我妻康裕、中村伸男	10 38 3
	大石 進、加藤正明	11 39 3
	渡辺清隆	12 40 3
	吉原高志	13 41 3
	井の山浩一	14 42 3
	荒木祥子、石黒まり、岡田登志子	15 43 3
	塩田牧子	

36	35			33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
64	63			61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44
3	3			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
井上弥生	澤 紫臣、市川明子、 我妻千晶、関戸浩一、法邑容子 高橋大介、関田恵美、小池雅裕	横山隆之介	井上美穂、上島健司、平松千佳	池田哲人、西川孝子、高橋 愛	山村嘉之、大場広輔、佐野圭介	市山規雄、鍵山昌史、永瀬竜也	南 博憲、棚瀬靖子、田中好美	渡辺眞千	大野正幸	村上 薫、小玉浩史	山田慶一郎	鈴木たまみ	手島勝典	木村彰男、山際伸治	島 容子	山際宏治、渡辺雅人	窪田 力	毛利明寛、児島成美	大島基嗣	慶林坊太	兵藤広一

項 目	金 額	摘 要
前 期 よ り 繰 越	5 0 9,7 3 3	6 8 名
3 6 回 生 入 会 金	3 4,0 0 0	
維 持 会 費	1 3 4,1 3 0	
総 会 祝 金	5,0 0 0	
利 息	5,3 1 0	
合 計	6 8 8,1 7 3	

項 目			金 額	摘 要
通 信 費			1 6,3 4 0	會 報
消 耗 品 費			6,3 1 8	
備 品 費			5 0 0	
會 議 費			5,6 7 0	
記 念 品 費			8,5 0 0	
印 刷 費			6 0,0 0 0	
總 會 外 費			3 2,8 4 0	
涉 外 費			1 0,0 0 0	
小 計			1 4 0,1 6 8	
次 期 繰 越			5 4 8,0 0 5	
合 計			6 8 8,1 7 3	

4 1 8, 9 5 1

63年度の会計監査をいたしましたところ、適正かつ正額であることを認めここに報告します。

同窓会会計監査 田中雅子 印

昭和63年度 同窓会収支明細

●維持会費納入方法

会運営を円滑にするため、是非ともよろしくお願い申し上げます。

一・維持会費 年額一〇一〇〇〇円

(但し二十才未満会員は免除可)

規約上の原則は上記の通りですが、二口以上の納入も、又、未成年会員の納入も、可能な範囲でよろしく願います。

二・特別寄付 年額 随意

「同窓会」設立に伴う活動資金の充実のために維持会費の上乗せのとして是非協力下さい。

三・納入方法

・振込先 九品仏小学校同窓会 口座

郵便振替口座 東京0122010

又は、東京都民銀行 九品仏支店

普通0313454

(郵便振替の際には用紙裏面の通信欄に卒業年度又は期別を記入して下さい)

●63年度の活動報告

会長 富田 浩司



同窓会設立後の実質的な初年度として、名簿整備の継続、各期幹事の拡充検討に加え、会財政強化のための会費納入推進を中心に活動を展開しました。組織の基礎造りの年として、平成元年度につなぐ、地味ながら一応の成果は得られたと思います。

5月17日 「会報」第一号発行(二千部)

維持会員・各期幹事に配付。

5月22日 「運動会」に会長、副会長出席。

6月4日 常任幹事会開催

年度総会運営準備・会報配付方法等を含め、年度方針検討。

6月19日 「63年度年度総会」開催

役員・各期幹事・35回卒業生等約一〇〇名出席。

年度報告に加え、第八代校長浅子昭三氏の名譽顧問就任を全員一致で承認。

11月12日 「尾山台小学校創立五十周年式典」に会長出席

11月12日 会長・副会長会議開催、浅子名譽

顧問にも出席願う。

11月13日 「学芸会」に会長出席

元年3月 36期生への挨拶文作成配付

3月25日 「卒業式」に会長・副会長出席

前記の他、山本校長(名譽会長)、丸山教頭(副会長)との打合せは随時。又常任幹事への連絡も会長・副会長・打合せと共に、随時実施。会費納入の処理については名簿手入れと併せ、会長・会計担当にて実施。

●63年度各期活動報告

2月3組	クラス会
23期2組	クラス会
29期3組	クラス会
4月8期3組	クラス会
34期1組	クラス会
5月3期1組	クラス会
6月3期1組	クラス会
7月10期2組	クラス会
12月34期2組	クラス会

●編集後記

同窓会準備は旧友と会える事が楽しく、二年がすぎました。多くの方々に参加して頂き同窓会をより発展させていきたいと思います。

(広報 走内・三野村)